

令和 7 年度 学校経営方針

第 4 次日野市学校教育基本構想 「子供たちが自ら育んでいってほしい力」
すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていく力

長期的目標

目指す学校像：すべての子供の活躍の舞台 日野第八小学校！

中期的目標

学校づくりのテーマ

今より もっと楽しい学校をつくる【子供たちがつくる学校】

目的：自立した学習者としての資質・能力を育てる。
そのために：主体性・自律心・自己調整力・探究心を育む教育活動の実践
目指す子供像：自ら課題を設定し、自分で考え、判断し、行動して課題を解決する子供
自他の課題解決や、新たな挑戦と創造のために協働できる子供

令和 7 年度 の教育活動の重点

短期的目標

令和 7 年度の目標

やってみよう・やりとげよう
— レッツ・トライ! —

子供たちが
つくる学校
プロジェクト

1 「子供たちがつくる学校」を実現する教育活動の工夫

○子供たちが、各学年の発達に合わせた役割を担い、対話を通した試行錯誤を繰り返し、学級・学年・学校を自分たちでつくりあげる経験を、6年間を通して積み上げていくことができるようにする。

2 重点的な取組

○上記の教育活動と関連させ、次の点を改善・充実・発展させ「目標」を達成する。

(1) 子供たちが、自分たちの学びを、自分たちでつくる授業の実施

- ① 生活科・総合的な学習の時間の授業づくり
 - ・地域資源の活用により、多様な他者と関わり、多様な体験・実践を通して学ぶ授業を工夫し実践する。
- ② 活用できる力を身に付け、自ら学ぶ授業づくり
 - ・子供が主体的に学び、「課題解決に活用できる確かな力を身に付ける授業」を工夫し実践する。
 - ・習得した力を生かし、子供が自らの学びを調整して取り組む「子供に委ねる授業」を工夫し実践する。

(2) 子供たちが、自分たちの学校生活を、自分たちでつくる活動の実施

- ① なかよしプレイタイムの充実・発展
 - ・第6学年をプレイリーダーとする異学年グループ「なかよし班」活動を、子供たちが自主的に企画・運営・改善して楽しむことができるようにする。
- ② 子供発信の活動の積極的な実施
 - ・ESD ミーティング、八小まつり、運動会、学習発表会などの学校行事やクラブ・委員会活動において、子供たちが自分たちのアイデアを生かして内容や活動を決定して取り組む機会を設定する。
 - ・学級会等での話し合いによって、「レッツ・トライ」の趣旨に沿った活動を、子供たちがつくり出し、仲間と共に試行錯誤を繰り返しながら、やり遂げる機会を設定する。

(3) つばめ学級及びステップ教室の運営体制の確立と指導の充実

- ① つばめ学級の開設と学級運営の充実
 - ア 安心できる環境づくり
 - ・つばめ学級の子供たちが安心して過ごせる環境を、全教職員と専門家、関係機関とともに構築する。
 - イ 個々の状況に応じた教育活動の円滑な実施
 - ・個々の状況を捉え、教科指導や自立活動を円滑に実施すると共に、常に指導を改善し、一人一人の子供に最適な指導を行う。
- ② ステップ教室における指導の充実
 - ・チームの力を生かして、個々の状況に応じた指導を充実し、常に指導法や支援策の改善を行う。

(4) 関係機関との連携に基づく生活指導の充実

○多様化している子供たちの心身の課題の解決について、教育、福祉、警察等の各機関と連携し、学校としての方針を明確にして対応し、状況の改善と解決に取り組む。

(5) 働き方改革の推進

- 学校が「子育てのパートナー」であることを前提に、真に学校が担うべきことと家庭や地域に委ねることを明確にし、連携して互いに役割を果たすことで、教育活動の充実を図る。
- 「すべては八小の子供たちのために」を念頭に、学校内の組織改編や業務改善を継続的に実施する。